

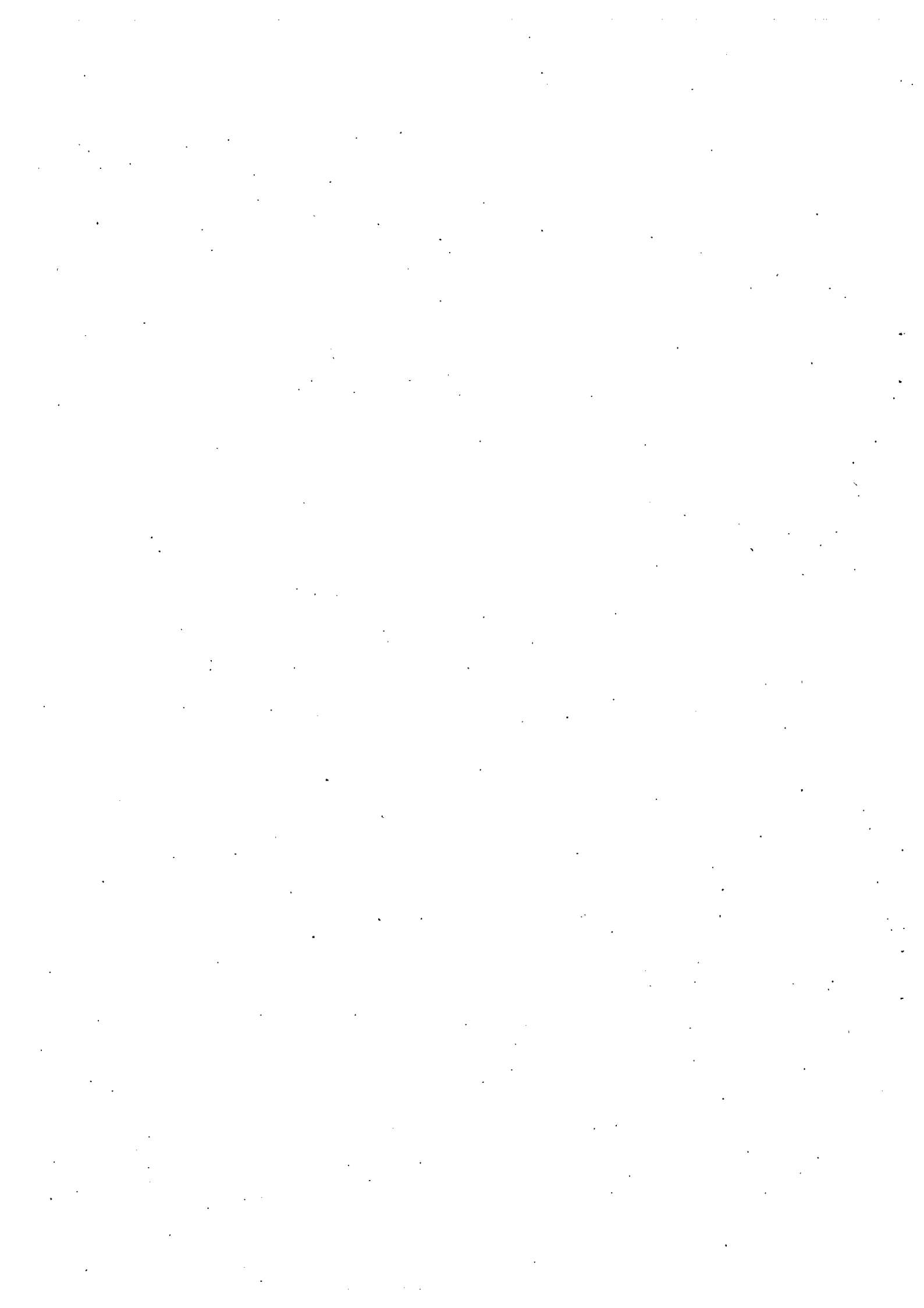
福祉生活病院常任委員会資料

(令和元年8月20日)

【件名】

- 1 第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園出場チームの決定について
(障がい福祉課)・・・1
- 2 「ひきこもり問題を考えるフォーラム in 鳥取」の開催について
(健康政策課)・・・5
- 3 理学療法士修学資金に関する個人情報を含む書類の誤送付について
(医療政策課)・・・6

福祉保健部



第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園出場チームの決定について

令和元年8月20日
障がい福祉課

「第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」について、8月1日（木）に予選審査会を開催し、参加申込みのあった57チーム（59校）から、9月29日（日）に開催する本大会に出場する15チームを選出しました。

1 本大会出場チーム

別紙1のとおり15チーム（19校※）を選出しました。

※合同チームが4つ

2 本大会出場チームの選出状況

(1) 本県から参加した8チーム（8校）のうち、3チーム（3校）が本大会への出場が決定した。

- ・米子東高等学校（2年連続2回目）〔中国・四国ブロック枠で選出〕
- ・鳥取聾学校（3年ぶり4回目）〔得点順枠で選出〕
- ・米子西高等学校（初出場）〔初出場枠で選出〕

※その他、本県から参加した、鳥取城北高等学校、岩美高等学校、琴の浦高等特別支援学校、米子高校、境港総合技術高等学校は予選通過ならず。

(2) 本年から新設した「合同チーム枠※」から1チームを選出した。

※聴覚障がいを対象とする特別支援学校高等部とその他の学校で構成する合同チーム

- ・ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校（広島県）の合同チームが選出

(3) 本大会（本選）に初めて出場する学校が6校となった。（2つの合同チーム含む）

- ・美唄聖華高等学校（北海道）
- ・埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園（埼玉県）
- ・松山聾学校（愛媛県）※済美高等学校との合同チーム
- ・田園調布学園高等部（東京都）
- ・富士学苑高等学校（山梨県）※身延山高等学校との合同チーム
- ・米子西高等学校（鳥取県）

(4) 過去の大会で優勝経験のある4チームも本大会への出場が決定した。

- ・第5回：真和志高等学校（沖縄県）
- ・第4回/第2回：奈良県立ろう学校（奈良県）
- ・第3回：熊本聾学校（熊本県）
- ・第1回：田鶴浜高等学校（石川県）

3 選手宣誓チーム

- ・米子西高等学校（予選審査結果発表会の際に庄崎審査員長により抽選し、決定。）

4 予選審査会について

(1) 日程 令和元年8月1日（木）

(2) 審査員

審査員長：庄崎 隆志 氏（演出家・俳優 ろう者）

審査員：小中 栄一 氏（全日本ろうあ連盟 副理事長 ろう者）

門 葵彦 氏（絵かき 聞こえる人）

塩野谷 齊 氏（鳥取大学地域学部 教授 聞こえる人）

(3) 本大会出場チームの選出

参加申込みのあった57チーム(別紙2)から以下により、本大会出場チームを選出しました。

① 地方ブロック枠(6チーム) → 6チーム選出

6つの各地方ブロック(北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄)で審査得点が高いチームを選出。

② 得点順枠(6チーム以上) → 7チーム選出(1チームは開催地枠から振り替え)

①の選出チームを除き、審査得点が高い順に6チームを選出。

③ 合同チーム枠(1チーム) ※今大会新規枠 → 1チーム選出

①及び②の選出チーム以外に、聴覚障がいを対象とする特別支援学校高等部とその他の学校で構成する合同チームの中で審査得点が高いチームを選出。

④ 初出場枠(1チーム) → 1チーム選出

①から③までの選出チーム以外に、これまで本大会に出場したことがないチームの中で審査得点が高いチームを選出。

⑤ 開催地枠(1チーム) → 選出なしのため、得点順枠に振り替え

①から④までの選出チームの中に開催地(鳥取県)のチームが含まれていない場合に限り、開催地(鳥取県)のチームの中で審査得点が高いチームを選出。

5 予選審査結果発表会について

(1) 日 時 令和元年8月2日(金) 正午から午後0時50分まで

(2) 場 所 鳥取県庁第33・34会議室(第2庁舎4階)

(3) 発表者 審査員長 庄崎 隆志 氏

(4) 内 容

ア 本大会出場15チームの発表

イ 本大会の演技順の決定、選手宣誓チームの抽選

ウ 審査員長の講評

(5) ライブ配信

予選審査結果発表会の様子は、公式動画チャンネルにてライブ配信しました。

[手話パフォーマンス甲子園動画チャンネル(You Tube)]

<https://www.youtube.com/user/skoushien>

6 第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の概要

(1) 開催日時 令和元年9月29日(日) 9:30~16:00(予定)

(2) 会 場 とりぎん文化会館 梨花ホール

(3) 出 場 予選を通過した15チーム

(4) 内 容 手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇等のパフォーマンス

(5) 交流会の開催

ア 日 時 令和元年9月28日(土) 18:00~19:30

イ 場 所 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間(鳥取市今町2丁目153番地)

ウ 参加者 出場チーム(生徒、引率)、本大会出演者、来賓(協力団体、協賛団体、国及び県議会議員等)、手話パフォーマンス甲子園実行委員会委員、その他大会関係者

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 本大会出場チーム一覧
(予選審査結果)

①地方ブロック枠(6チーム) …各ブロックで最上位チームを選出

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 北海道・東北	北海道	美唄聖華高等学校	びばいせいか	128	初出場
2 関東	埼玉県	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	さいたまけんりつとくべつしえんがっこうさかどろう	171	初出場
3 中部	石川県	田鶴浜高等学校	たつるはま	165	6回目
4 近畿	奈良県	奈良県立ろう学校	ならけんりつろう	165	6回目
5 中国・四国	鳥取県	米子東高等学校	よなごひがし	161	2回目
6 九州・沖縄	沖縄県	真和志高等学校	まわし	172	6回目

②得点順枠(7チーム) …①を除く上位7チームを選出(1チーム枠は開催地枠からの選出なしによる振り替え)

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 九州・沖縄	熊本県	熊本聾学校	くまもとろう	171	5回目
2 関東	東京都	大泉桜高等学校 立川ろう学校 (合同チーム)	おおいずみさくら たちかわろう	159	5回目 4回目
3 中国・四国	愛媛県	済美高等学校 松山聾学校 (合同チーム)	さいび まつやまろう	155	2回目 初出場
4 近畿	奈良県	聖心学園中等教育学校	せいしんがくえん	155	4回目
5 関東	東京都	田園調布学園高等部	でんえんちようふがくえんこうとうぶ	153	初出場
6 中部	山梨県	身延山高等学校 富士学苑高等学校 (合同チーム)	みのぶさん ふじがくえん	153	3回目 初出場
7 中国・四国	鳥取県	鳥取聾学校	とっとりろう	151	4回目

③合同チーム枠(1チーム) …①・②を除き、合同チーム枠の対象※の中から最上位チームを選出

※聴覚障がいを対象とする特別支援学校高等部とその他の学校で構成する合同チーム

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 中国・四国	広島県	ノートルダム清心高等学校 広島南特別支援学校 (合同チーム)	のーとるだむせいしん ひろしまみなみ	144	3回目 2回目

④初出場枠(1チーム) …①・②・③を除きこれまで本大会に出場したことのない最上位チームを選出

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 中国・四国	鳥取県	米子西高等学校	よなごにし	145	初出場

⑤開催地枠(選出なし) …①・③・④に鳥取県のチームが含まれるため選出なし

ブロック名	都道府県名	学校名	よみ	得点	本大会出場回数
1 -	-	選出なし	-	-	-

【本大会の演技順】 抽選により決定

順番	都道府県名	学校名	備考
1	鳥取県	米子西高等学校	選手宣誓
2	広島県	ノートルダム清心高等学校・広島南特別支援学校	合同チーム
3	北海道	美唄聖華高等学校	
4	鳥取県	鳥取聾学校	
5	東京都	田園調布学園高等部	
6	愛媛県	済美高等学校・松山聾学校	合同チーム
7	山梨県	身延山高等学校・富士学苑高等学校	合同チーム
8	奈良県	聖心学園中等教育学校	
9	埼玉県	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	
10	石川県	田鶴浜高等学校	
11	熊本県	熊本聾学校	
12	奈良県	奈良県立ろう学校	
13	沖縄県	真和志高等学校	
14	鳥取県	米子東高等学校	
15	東京都	大泉桜高等学校・立川ろう学校	合同チーム

第6回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 参加申込みチーム一覧

別紙2

■参加申込 57チーム(59校)

ブロック名	チーム数	学校数	No.	都道府県	学校(チーム)名	よみ	※参加実績	備考
北海道・東北	2チーム	2校	1	北海道	美唄聖華高等学校	びばいせいいか	3	
			2	宮城県	聖ウルスラ学院英智高等学校	せいうるすらがくいんえいち	初	
関東	10チーム	11校	3	埼玉県	ふじみ野高等学校	ふじみの	2	
			4	埼玉県	埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園	さいたまけんりつとくべつしえんがっこうさかどうがくえん	初	
			5	東京都	大泉桜高等学校	おおいずみさくら	6	合同チーム
			6	東京都	立川ろう学校	たちかわろう	4	
			7	東京都	豊南高等学校	ほうなん	5	
			8	東京都	田園調布学園高等部	でんえんちようふがくえんこうとうぶ	初	
			9	東京都	酒徳女子高等学校	じゅんとくじょし	4	
			10	東京都	郁文館グローバル高等学校	いくぶんかんぐるーぱる	初	
			11	神奈川県	横浜南陵高等学校	よこはまなんりょう	5	
			12	神奈川県	金沢総合高等学校	かなざわそうごう	初	
			13	神奈川県	二俣川看護福祉高等学校	ふたまたがわかんごふくし	4	
			中部	11チーム	10校	14	石川県	田鶴浜高等学校
15	福井県	啓新高等学校				けいしん	6	
16	山梨県	身延山高等学校				みのぶさん	6	合同チーム
17	山梨県	富士学苑高等学校				ふじがくえん	初	
18	長野県	エクセラン高等学校				えくせらん	初	
19	静岡県	島田工業高等学校				しまだこうぎょう	初	
20	愛知県	杏和高等学校				きょうわ	5	
21	愛知県	桜花学園高等学校Aチーム				おうかがくえん	5	同一校
22	愛知県	桜花学園高等学校Bチーム				おうかがくえん	5	同一校
23	愛知県	岡崎東高等学校				おかざきひがし	4	
24	愛知県	安城生活福祉高等専修学校Aチーム				あんじょうせいかつふくし	5	同一校
25	愛知県	安城生活福祉高等専修学校Bチーム	あんじょうせいかつふくし	5	同一校			
近畿	7チーム	7校	26	大阪府	クラーク記念国際高等学校大阪天王寺キャンパス	くらーきねんこくさい	初	
			27	大阪府	芦間高等学校	あしま	2	
			28	大阪府	松原高等学校	まつばら	6	
			29	兵庫県	鳴尾高等学校	なるお	4	
			30	奈良県	奈良県立高等養護学校	ならけんりつこうとうようご	初	
			31	奈良県	奈良県立ろう学校	ならけんりつろう	6	
			32	奈良県	聖心学園中等教育学校	せいしんがくえん	4	
中国・四国	17チーム	19校	33	鳥取県	鳥取城北高等学校	とっとりじょうほく	6	
			34	鳥取県	境港総合技術高等学校	さかいみなとそうごうぎじゅつ	6	
			35	鳥取県	米子高等学校	よなご	3	
			36	鳥取県	米子西高等学校	よなごにし	初	
			37	鳥取県	鳥取雙学校	とっとりろう	5	
			38	鳥取県	岩美高等学校	いわみ	6	
			39	鳥取県	米子東高等学校	よなごひがし	2	
			40	鳥取県	琴の浦高等特別支援学校	ことらのら	2	
			41	岡山県	明誠学院高等学校	めいせいがかいん	初	
			42	岡山県	倉敷翔南高等学校	くらしきしょうなん	初	
			43	岡山県	岡山学芸館高等学校	おかやまがけいげいかん	初	
			44	岡山県	岡山県美作高等学校	おかやまけんみまさか	2	
			45	広島県	ノートルダム清心高等学校	のーとるだむせいしん	3	合同チーム
			46	広島県	広島南特別支援学校	ひろしまみなみ	2	
			47	香川県	高松南高等学校	たかまつみなみ	4	
			48	香川県	尽誠学園高等学校	じんせいがかくえん	2	
			49	愛媛県	済美高等学校	さいび	2	合同チーム
50	愛媛県	松山雙学校	まつやまろう	初				
51	愛媛県	聖カタリナ学園高等学校	せいかたりながくえん	3				
九州・沖縄	10チーム	10校	52	福岡県	大和青藍高等学校	やまとせいらん	5	
			53	福岡県	三井高等学校	みい	6	
			54	福岡県	久留米筑水高等学校	くるめちくすい	初	
			55	佐賀県	神埼清明高等学校	かんざきせいめい	3	
			56	長崎県	平戸高等学校	ひらど	4	
			57	熊本県	熊本雙学校	くまもろう	5	
			58	熊本県	阿蘇中央高等学校	あそちゆうおう	初	
			59	大分県	大分東明高等学校	おおいたとうめい	6	
60	沖縄県	沖縄尚学高等学校	おきなわしょうがく	初				
61	沖縄県	真和志高等学校	まわし	6				

※参加実績欄 数字は参加回数(今大会含む)、「初」:初参加校

【申込み数】

チーム数	57
学校数	59
都道府県数	25

【参加実績内訳】

初参加校	18
過去参加校	41

「ひきこもり問題を考えるフォーラム in 鳥取」の開催について

令和元年8月20日

健康政策課

「8050問題」といったひきこもりへの関心が高まる中、ひきこもりに対する正しい理解を深め、身近な地域でひきこもりに悩む本人等を早期に把握し、適切な支援につなぐことを目的として、広く一般県民を対象とした「ひきこもり問題を考えるフォーラム in 鳥取」を開催します。(とっとり県民カレッジ連携講座)

- 1 日 時 令和元年8月27日(火) 午後1時30分から午後4時まで
- 2 場 所 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール(倉吉市駄経寺町187-1)
- 3 定 員 150名(入場無料、どなたでも参加可能)
- 4 主 催 鳥取県
- 5 内 容

(1) 基調講演「ひきこもりの正しい理解と支援」(13:35～)

○講師 斎藤 まさ子(さいとう まさこ)氏(新潟青陵大学大学院看護学研究科教授)

■プロフィール■

新潟大学大学院法学研究科卒業。法学修士。

精神科臨床経験7年、看護専門学校6年の経験を経て、2006年新潟青陵大学に着任。

2014年より同大学教授。

ひきこもりの親の会支援プログラムに関する研究等、ひきこもり家族会に関する研究実績多数。「KHJ 地域におけるひきこもり支援ガイドブック」

(2) 報告①「県内におけるひきこもりの実態」(14:50～)

○報告者 原田 豊氏(鳥取県立精神保健福祉センター所長)

(3) 報告②「県内におけるひきこもり支援の実際」(15:15～)

○報告者 山本 恵子氏(とっとりひきこもり生活支援センター代表)

(4) 発表「ひきこもりからの回復」(15:40～)

○発表者 ひきこもりを経験された方

(参考) 6月補正予算におけるひきこもり対策の推進

区分	事業内容
とっとりひきこもり生活支援センターの強化	○相談員の増加(4人→5人) ○西部相談拠点の開設日の増加(週1日→週5日) ○市町村が行う相談支援に対する後方支援機能(スーパーバイズ)の強化 ○訪問支援の積極的な実施
ひきこもりサポーター養成研修の実施	○民生児童委員等の地域の支援者や、ひきこもり支援に関心のある方を対象にした研修会の実施(各圏域1回) ※詳細は現在検討中
市町村における支援体制の構築	○八頭町等の取組の横展開やモデル事業の検討 ○地域包括支援センター等職員を対象とした研修会の実施

理学療法士修学資金に関する個人情報を含む書類の誤送付について

令和元年8月20日
医療政策課

理学療法士等修学資金の返還免除決定通知にあたり連帯保証人に対し、誤って別人あての返還免除通知の写しを添付して郵送したことにより、それぞれに関係する個人情報が流出しましたので、報告します。

1 確認日時

8月13日(火)午後2時30分頃

2 経緯

【8月8日】

- 理学療法士等修学資金の借入者A氏及びその連帯保証人B氏、C氏、並びに借入者D氏及びその連帯保証人E氏、F氏に対し、返還免除通知の発送を行った。

【8月13日】

- 連帯保証人B氏から、「返還免除通知を受け取ったが、別の借入者であるD氏の返還免除通知の写しが添付されている。」との電話連絡があった。
- 確認のため連帯保証人E氏に電話で確認したところ、A氏の返還免除通知の写しが添付されているとのことであり、E氏あてにA氏、B氏あてにD氏の写しを誤って添付して送付していたことが判明した。

【返還免除】県内において修学資金の貸与を受けた期間に相当する期間以上理学療法士等の業務に従事したとき返還を免除するもの。

3 流出した情報等

- (1) 流出した個人情報の内容 借入者(A氏、D氏)の氏名、借入金額、返還済額、免除額
- (2) 流出した件数 2件

4 原因

通常は発送時に職員によるダブルチェックを行っているが、今回は返還対象者が2名(通知対象者6名)と少なかったことからダブルチェックを怠り、文書の誤送付に気づけなかった。

5 対応状況

- 8月13日に電話で説明し、謝罪を行った。
- 8月14日に借入者A氏、連帯保証人B氏宅及び借入者D氏、連帯保証人E氏宅を訪問し、経緯の説明、謝罪した上で、誤って送付した文書を受け取り、再発防止に努めることをお伝えした。

6 再発防止策

再発防止の対策として、次のような対応を行います。

- (1) 個人情報が含まれた書類を送付する際には、細心の注意を払いチェックを行うとともに、送付前に複数の職員において封入物すべての書類を確認することを改めて徹底する。
- (2) 今回の事案について、所属職員全員で情報共有することにより、個人情報の適切な管理について徹底する。